

『20世紀資本主義—歴史と方法の再検討』

(創立五十周年記念大会報告集)

-		
『創立五十周年記念大会号』刊行にさいして		(1)
第1セッション 市場と国家		
ニューディール期アメリカにおける「市場」と「国家」	楠井敏朗	(5)
ナチス期ドイツにおける「課題としての競争」	雨宮昭彦	(18)
戦後日本の産業政策と政府組織	岡崎哲二	(28)
討論要旨	秋富 創	(41)
第2セッション 労働と福祉		
日本における労働と福祉—退職過程からみた関係史	佐口和郎	(43)
20世紀アメリカの労働と福祉—American Standard of Living と Welfare Capitalism を中心に	関口定一	(51)
非市場的調整の発展—20世紀フランスにおける労働と福祉	深澤 敦	(59)
討論要旨	宣 在源	(69)
第3セッション 戦後改革 50年		
西ドイツにおける戦後経済改革—ヨーロッパの戦後改革の一環として	柳澤 治	(71)
アメリカ経済の戦後再転換(1945-49年)—戦後経済システムへの移行	河村哲二	(81)
日本の戦後経済改革—非軍事化と民主化	浅井良夫	(93)
討論要旨	山崎澄江	(103)

第4セッション 現代農業問題		
戦後土地改革の論理と射程	野田公夫	(105)
EU 農政の総括と展望	柘植徳雄	(114)
日本農政の総括と展望—農業基本法以降の農政展開	小田切徳美	(123)
討論要旨	村山元展	(133)
第5セッション 環境問題		
企業環境主義と持続可能な発展	福士正博	(136)
環境経済学と原・経済学批判の自然認識—環境問題と諸経済学	工藤秀明	(144)
討論要旨	清水 卓	(154)
第6セッション 社会主義		
ソ連における計画化の源流とその思想	鈴木義一	(156)
20世紀比較体制研究の回顧と反省	中江幸雄	(165)
討論要旨	白川欽哉	(175)
第7セッション グローバリゼーション		
グローバリゼーションと多国籍企業	井上 博	(177)
現代帝国主義の第二段階と大衆社会の再収縮	後藤道夫	(186)
多国籍企業とグローバル・スタンダード—両報告のコメントに関連させて	萩原伸次郎	(195)
討論要旨	平野 健	(204)
第8セッション 国際通貨体制と金融危機		
第2次大戦に至る世界経済体制の対極化過程—「政治経	平 智之	(206)

「経済学」的視角からの再検討		
戦後 IMF 体制の構造転換—通貨危機の発現過程を通じて	伊藤正直	(216)
「ドル本位制」と通貨危機—システム民営化の限界	山本栄治	(226)
討論要旨	伊藤カナ	(234)
第9セッション 東アジア経済		
東アジアにおける「広域的循環」構造の形成と破綻	藤井洋次	(236)
東アジア金融危機と中国	姚 国利	(247)
ポスト冷戦とグローバリゼーション—藤井報告と姚報告から見たアジア通貨・金融危機	郭 洋春	(256)
討論要旨	宮崎礼二	(263)
総括セッション	田野慶子 矢後和彦	(165)
英文抄録		(269)